



たくさんの思い出を残して、吉原市民会館が閉館します。

ありがとう 市民会館

広く市民に親しまれ、市民文化の発祥地として活躍してきた吉原市民会館は、平成六年三月三十一日で閉館します。

吉原市民会館がオープンしたのは、今から三十四年前の昭和三十四年。ちょうど今の天皇陛下がご結婚された年に当たります。当時東海地区一の会館と言われた市民会館は、今までに数多くの市民に忘れられない感動と思い出をつくってくれました。

開館からことしの七月まで、吉原市民会館で行われたコンサートや展示会などの数は約六万件。総入場者数では、約六百二十五万人が吉原市民会館を利用したことになります。また、今では考えられないでしょうが、昭和五十年代までは結婚式も行っていました。市民会館で結婚式を挙げたカップルは、四千七百六十三組。この人たちにとつても、市民会館は忘れられない思い出になっていると思います。

これほど多くの人が利用し、思い出をつくってくれた市民会館ももう限界。設備も建物も古くなり、閉館記念事業「あっぱれ市民会館」を区切りとして、十一月にオープンするロゼシアターにその役目をバトンタッチします。

市民会館は皆さんの前から姿を消してしまいます。しかしそこから生まれた感動や笑いや涙の数々は、決して忘れられることなく、皆さんの心の中で生き続けるでしょう。



昭和三十四年一月十五日、吉原市民会館で記念すべき第一号の結婚式を行った、米山登さん・昭子さん夫妻の記念写真。



多くの若者が、市民会館で成人式を行い、大人として羽ばたいていきました。



加藤信吾さん(比奈)

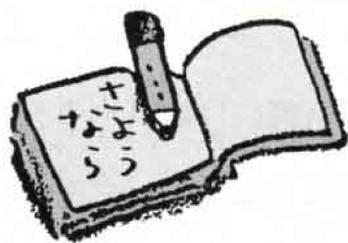
「市民会館での経験をロゼシアターへ」

吉原市民会館は、いろいろな文化団体や文化に貢献している市民の活動の場。またその活動を鑑賞に来る人たちで、吉原地区では一番人が集まるところです。私は十二年間、照明、音響という仕事を通じて市民会館に訪れる人が満足してもらえようという気持ちで、市民会館から学んだことはたくさん。技術的なことはもちろんですが、市民を大切に、育成するということが、今はロゼシアターで照明担当の仕事をしているのですが、市民会館で培った貴重な経験を生かして、市民文化をロゼへつないでいきたいと思っています。

市民会館での最後の仕事は、今度の「あっぱれ市民会館」。この日だけはロゼの仕事を手まわしていただき、市民会館への感謝の気持ちを込めて、精いっぱいお手伝いさせていただきます。

— 吉原市民会館閉館記念事業 —

「あっぱれ 市民会館」スケジュール



- とき 10月22日(金)～24日(日)
- ところ 吉原市民会館 (ホール、会議室、ロビーなど)
- 入場料 無料 (ホールでの公演には入場整理券が必要です。整理券は文化振興課、吉原市民会館、富士文化センター、ラ・ホール富士、各公民館で配布します)

展 示

会場	日	時 間	内 容
会議室	22日(金)	9:00～19:00	<ul style="list-style-type: none"> ●絵画 (日本画、洋画)、写真、書道 (毛筆、硬筆)、盆栽、水石、陶芸、彫刻、華道、フラワーデザイン、型染などの作品を、「贈る花束」をテーマに展示します。 ●吉原市民会館の思い出になる資料を展示します。
	23日(土)		
	24日(日)	9:00～17:00 一部15:00まで	

ス テ ー ジ

会場	日	時 間	内 容
ホール	23日(土)	13:30～15:00	市内の幼稚園・保育園の園児や先生による遊戯、劇、合唱など
		18:30～20:30	市内の太鼓、民謡、邦楽、洋楽 (ピアノ、声楽など)、合唱団などの団体による、お別れ公演
	24日(日)	14:00～16:00	京都フィルハーモニー室内合奏団、菅原孝(元ビリーバンバン)、少年少女合唱団、市民コーラスによる、吉原市民会館と富士市の34年間を、音と映像でつづるフェアウェルコンサート

そ の 他

会場	日	時 間	内 容
ロビー	23日(土)	10:00～15:00	抹茶、煎茶の無料サービス
市民会館 駐車場	24日(日)	16:15ころ	市民会館駐車場に、9月下旬から特大の「何か」が出現します。その「何か」を利用して、永くはぐくまれ、愛されてきた文化を、次代に託すセレモニーを行います。お楽しみに。

三十四年間がんばった市民会館をみんなに褒めてほしい

吉原市民会館とは、高校生のころからつき合ってきました。ピアノの伴奏や合唱で、何度もステージの上で、また二十年前から少年少女合唱団の練習場所として利用してきました。そんな思い出もあって、「あっぱれ市民会館」をぜひ成功させたいのです。

今回の事業に出演する人は、みんな市民会館で公演したことがあり思い出のある人ばかり。幼稚園から六十歳以上のグループ「寿コーラス」までと世代もさまざまです。思い出深くなるよう、それぞれが真剣に取り組んでいます。

市民会館がなくなることはとても寂しいですが、出



吉原市民会館閉館記念事業
ステージ部会

部長 辻村典枝さん

皆さんに親しまれてきた吉原市民会館は、「あっぱれ市民会館」を最後にその役目を終えますが、平成6年3月31日までは、通常通り運営します。ホール、会議室の利用や、施設の見学を希望される人は吉原市民会館へご連絡ください。

●問い合わせ 吉原市民会館 ☎52-0740
富士文化センター ☎61-6262

演者だけでなく、大勢の人に参加していただき、この閉館事業が寂しく終わることなくにぎやかに幕を閉じてほしいですね。そして、みんなにこの事業を通じて市民会館が三十四年間がんばったことを褒めてもらい、自分自身の市民会館に対する思い出を残してほしい。それが私の願いです。